

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	キャリアプランニングⅢ (Carrier planning-Ⅲ)	必修 選択	必修	年次	3	担当教員	熊谷 亮太郎
	専攻名	水族館&マリンリゾート専攻	授業形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限

【授業の学習内容】

将来のキャリア設計を行うと共に、社会人として必要な社会常識や、身構え・気構え・心構えなどを発揮出来る様になる。

※担当教員実務経験:

【到達目標】

- 業界に出て即戦力となり得る一般教養を身に付けることが出来る。
- 自立型協働社会人として、自ら考え行動し、周りを巻き込むことが出来る。

授業計画・内容

1回目	キャリアデザイン / オリエンテーション、自己分析		
2回目	キャリアデザイン / 就職活動のすすめ①		
3回目	キャリアデザイン / 就職活動のすすめ②	社会人基礎力/社会人になる前の基礎知識①	
4回目	キャリアデザイン / 就職活動のすすめ③	社会人基礎力/社会人になる前の基礎知識②	
5回目	キャリアデザイン / 就職活動のすすめ④	社会人基礎力/社会人になる前の基礎知識③	
6回目	キャリアデザイン / 就職活動のすすめ⑤	チームマネジメント/学園祭について①	
7回目	キャリアデザイン / 合同企業説明会に向けて	チームマネジメント/学園祭について②	
8回目	キャリアデザイン / 合同企業説明会振り返り	チームマネジメント/学園祭について③	
9回目	業界研究 / 研修後振り返り		
10回目	キャリアデザイン / 夏季休暇に向けて①	インターンシップ・就職活動における姿勢①	
11回目	キャリアデザイン / 夏季休暇に向けて②	インターンシップ・就職活動における姿勢②	
12回目	キャリアデザイン / 夏季休暇に向けて③	インターンシップ・就職活動における姿勢③	
13回目	キャリアデザイン / 夏季休暇振り返り 活動報告(インターンシップ・就職活動情報共有) スポーツフェスタについて①		
14回目	チームマネジメント / スポーツフェスタイベント内容の話し合い(ホスピタリティマインドを学び、チーム力を養う) スポーツフェスタについて②		
15回目	キャリアデザイン / 前期振り返り 就職活動状況の確認・活動方針の調整 スポーツフェスタについて③		

準備学習
時間外学習

事前課題や調べ学習を行い、授業に臨む

評価方法

1. 授業態度 (30%)
2. 各種レポート、その他提出を求めるもの (50%)
3. 出席 (20%)

【使用教科書・教材・参考書】

・新社会人の基礎力109(滋慶出版)、オリジナルPowerPoint

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	キャリアプランニングⅢ (Carrier planning-Ⅲ)	必修 選択	必修	年次	3	担当教員	熊谷 亮太郎
	専攻名	水族館&マリンリゾート専攻	授業形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限
【授業の学習内容】							
<p>将来のキャリア設計を行うと共に、社会人として必要な社会常識や、気構え・身構え・心構えなどを発揮出来る様になる。</p>							
【到達目標】							
<p>■業界に出て即戦力となり得る一般教養を身に付けることが出来る。 ■自立型協働社会人として、自ら考え行動し、周りを巻き込むことが出来る。</p>							

授 業 計 画 ・ 内 容	
1回目	キャリアデザイン / 就職活動の現状確認と今後の予定
2回目	キャリアデザイン / 就職活動対策①
3回目	キャリアデザイン / 就職活動対策②
4回目	キャリアデザイン / 就職活動対策③
5回目	キャリアデザイン / 就職活動対策④
6回目	チームマネジメント / 卒業課題制作①、We are ECO①
7回目	チームマネジメント / 卒業課題制作②、We are ECO②
8回目	チームマネジメント / 卒業課題制作③、We are ECO③
9回目	チームマネジメント / 卒業課題制作④、We are ECO④
10回目	チームマネジメント / 卒業課題制作⑤、We are ECO⑤
11回目	チームマネジメント / 卒業課題発表: 評価・振り返り①、We are ECO⑥
12回目	チームマネジメント / 卒業課題発表: 評価・振り返り②、We are ECO⑦
13回目	セルフマネジメント / 2024年振り返り
14回目	セルフマネジメント / 3年間振り返り①
15回目	3年間振り返り②
準備学習 時間外学習	事前課題や調べ学習を行い、授業に臨む。
評価方法	1. 授業態度 (30%) 2. 各種レポート、その他提出を求めるもの (50%) 3. 出席 (20%)
【使用教科書・教材・参考書】	
・新社会人の基礎力109(滋慶出版)、オリジナルPowerPoint	

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	ホスピタリティ (hospitality)	必修 選択	必修	年次	3	担当教員	有限会社セレーノ・コーポレーション
専攻名	水族館&マリンリゾート専攻	授業形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
		実施方法	対面授業			曜日・時限	火曜日 4時限

<p>【授業の学習内容】</p> <p>ホスピタリティ・マインドとは、「おもてなしの心」とも訳され、ビジネスに携わる上で不可欠なものです。相手に満足してもらうサービスを提供する為に、「相手の立場になって考え行動できる力」を身につけ実践出来るように講義形式・実践形式にて理解を深めます。</p> <p>※担当教員実務経験：専門学校にて、ビジネスマナー、ホスピタリティ、就職講座など幅広く担当している。</p>
<p>【到達目標】</p> <p>①ホスピタリティの理論と実践の両面からホスピタリティを理解し、マインドとスキルを習得することができる。 ②学んだことを生かし、日常生活においてもホスピタリティ・マインドを持って行動することができる。</p>

授業計画・内容

1回目	オリエンテーション：講義の説明　ホスピタリティ動画を視聴し、サービスとホスピタリティの違いについて理解することができる
2回目	ホスピタリティを実践するための3つのステップを踏まえ基本マナーを身につける(挨拶・お辞儀)
3回目	プロとしての雰囲気作りを習得することができる(服装・身だしなみの重要性)
4回目	プロとしての雰囲気作りを習得することができる(言葉遣い・声の出し方)
5回目	電話対応の基本マナーとビジネス上の定番トークを覚え、信頼を得る電話対応ができる
6回目	電話対応　ロールプレイング
7回目	おもてなしにあたってのマナーについて理解し、現場で実践することができる
8回目	プロとしての雰囲気作りを習得することができる(コミュニケーションが始まる挨拶・笑顔)
9回目	適当な挨拶のデメリットとマナーにかなった挨拶のメリットについて理解を深めることができる
10回目	マインド(心構えや気持ち)、知識、行動など振り返り、再確認することができる。
11回目	リッツ・カールトンのホスピタリティについて調べ、感動を与えるサービスについて理解することができる
12回目	自分が体験した感動サービスについて取り上げ、感性を磨くことができる
13回目	評価試験対策
14回目	評価試験
15回目	前期講義の振り返り
準備学習 時間外学習	事前学習では、シラバスを読み講義概要を確認すること。 時間外学習では、ホスピタリティを身につけるために行動すること。相手に対してちょっとした気遣いの積み重ねです。まずは考え行動しましょう。
評価方法	・試験:80% ・平常点:20%

<p>【使用教科書・教材・参考書】</p> <p>【使用参考書】 図解版ホスピタリティの教科書/林田正光 著</p>
--

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	ホスピタリティ (hospitality)	必修 選択	必修	年次	3	担当教員	有限会社セレーノ・コーポレーション
専攻名	水族館&マリンリゾート専攻	授業形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
		実施方法	対面授業			曜日・時限	火曜日 4時限
【授業の学習内容】							
<p>前期講義で習得したものをさらにワンランク上の知識やスキルを身につけ、ホスピタリティを拠り所としたよりきめ細かく幅広い実務と教養を学びます。</p> <p>※担当教員実務経験: 専門学校にて、ビジネスマナー、ホスピタリティ、就職講座など幅広く担当している。</p>							
【到達目標】							
<p>①前期講義で習得したのから更にワンランク上の知識やスキルを身につけることができる。</p> <p>②実社会におけるホスピタリティ・マインドの重要性を認識し、社会人として通用する心構えを構築することができる。</p>							

授 業 計 画 ・ 内 容	
1回目	オリエンテーション : 講義の説明 前期講義の振り返り
2回目	ホスピタリティを実践するための3つのステップを踏まえ「気くばり」について理解することができる
3回目	「気くばり」に必要な具体的な手法を知り、顧客満足度を上げることができる
4回目	ワンステップ上の挨拶の実践によりパーソナル・サービスに生かすことができる
5回目	気くばりのあるコミュニケーション(対応力、傾聴力、褒め上手)でお客様のご要望がわかる
6回目	リピーター、ロイヤルカスタマーを生む対応力について理解することができる
7回目	「心くばり」に必要な手法を知り、お客様や周囲の状況を把握し必要に応じたコミュニケーションを図ることができる
8回目	お客様とのやり取りの中で、ニーズの先読みをし、最適な準備や柔軟な対応をすることができる
9回目	お客様からの要望やクレームに対し、お客様の心理に寄り添ったコミュニケーションを図ることができる
10回目	お客様により良いサービスを提供するために組織のホスピタリティについて理解することができる
11回目	ホスピタリティを実践している企業を取り上げ、経営理念・ビジョンなどお客様や社会に提供している価値について理解することができる【グループワーク】
12回目	ホスピタリティを実践している企業を取り上げ、経営理念・ビジョンなどお客様や社会に提供している価値について理解することができる【発表】
13回目	評価試験対策
14回目	評価試験
15回目	前期講義の振り返り
準備学習 時間外学習	<p>事前学習では、シラバスを読み講義概要を確認すること。</p> <p>時間外学習では、講義を理解するために講義内容を見直しあいまいな点は質問できるように整理すること。</p> <p>また、新たな気づきなどをノートにまとめておくこと。</p>
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・試験: 80% ・平常点: 20%
【使用教科書・教材・参考書】	
【使用参考書】 図解版ホスピタリティの教科書/林田正光 著	

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	中国語 (Chinese language skills)	必修 選択	必修	年次	3	担当教員	李霜華
専攻名	水族館&マリンリゾート専攻	授業形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
		実施方法	対面授業			曜日・時限	木曜日 3 時限

【授業の学習内容】

長年に亘り、言語学と教育方法学の理論に基づいて、エキスパートとしての中国語教育を行ってきました。業務に使えるオリジナル教材を作って、昨年の勉強を踏まえ、中国語の基礎を更に固め、発音・文字・文法を中心に深く指導していきます。授業の内容を身につけるだけでなく、自らの勉強を通じて問題解決の能力を高めるように期待しています。日常会話・ビジネス会話を繰り返し読んだり暗記したりして、流暢に話せるまで練習してもらいます。また、中国語検定試験3級に合格できるように、試験問題を解くノウハウを丁寧に説明し、クラス全員で力を合わせて、目標を目指して頑張ってもらいます。

【到達目標】

中国語の勉強を通じて、中国・日本・アジアの文化について興味を感じ、更に理解できる。卒業後、様々な仕事場で習った知識を生かし活躍している場面を頭に思い浮かべながら、日々の努力によって語学力を徐々に高めることができる。また、中国語検定試験3級(中級レベル)に合格できるように、発音・文字・文法を全面的に学習しながら進めていく。卒業するまでに検定試験に合格するだけでなく、日常会話、仕事用語などが流暢に話せるように目指す。

授 業 計 画 ・ 内 容

1回目	今学期の目標、計画、学習内容をみんなで確認してから、各自のスケジュールを立てて、全員で学習を進めることができる。(HSK三級の単語学習)
2回目	就職面接の会話を練習し、自己紹介が流暢に話せる。単語の量を増やす。試験問題を解くことができる。
3回目	簡単な日常会話が流暢にできる。これからの仕事に関係がある単語を勉強し覚えることができる。
4回目	今までの試験問題を全面的に復習し、三級試験問題のポイントを再チェック、各問題についてのノウハウを身につけることができる。
5回目	検定試験三級の過去問を導入し、検定試験の内容、勉強方法について再確認し、試験対策を身につけて、上のレベルを目指すことができる。
6回目	日常会話・ビジネス会話のフレーズを勉強し、仕事場の各状況に対応ができる。
7回目	将来の職場の場面を設定して、中国語で対応できるように、会話を身につけることができる。
8回目	各人の問題点を見つけ、リスニングと会話を中心に、聴力とコミュニケーション能力をアップすることができる。
9回目	未来の仕事についての専門用語、会話を勉強し、仕事現場に臨む実能力を身につけることができる。
10回目	試験の過去問についての間違いを訂正し、勉強を進め、更に語学能力を高めることができる。
11回目	模擬試験を実施して、全員が合格できるように目指し、総合的に練習することができる。
12回目	前期の学習内容を全面的に復習し、授業効果を一層高めることができる。
13回目	各自に立てた学習目標をチェックして、実現できていない部分を中心に、もう一度挑戦することができる。
14回目	期末試験、中国語の聴力・会話力・理解能力をチェックすることができる。
15回目	試験結果のまとめ、それぞれの足りない部分を認識して、再スタートすることができる。
準備学習 時間外学習	授業の前に復習、予習が必要で、単語、フレーズ、自己紹介の内容を常に暗記してください。ボランティア活動に積極的に参加し、中国語圏の観光客とコミュニケーションを取り、視野を広げていく。
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ●授業態度(30%) ●小テスト(20%) ●定期テスト(50%) 割合で成績評価を行う。
【使用教科書・教材・参考書】	
日常会話・ビジネス会話プリント、市販中国語検定試験問題集・会話教材等	

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	中国語 (Chinese language skills)	必修 選択	必修	年次	3	担当教員	李霜華
専攻名	水族館&マリンリゾート専攻	授業形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
		実施方法	対面授業			曜日・時限	木曜日 3 時限

【授業の学習内容】

長年に亘り、言語学と教育方法学の理論に基づいて、エキスパートとしての中国語教育を行ってきました。業務に使えるオリジナル教材を作って、前期の勉強を踏まえ、中国語の基礎を更に固め、発音・文字・文法を中心に深く指導していきます。授業の内容を身につけるだけでなく、自らの勉強を通じて問題解決の能力を高めるように期待しています。日常会話・ビジネス会話を繰り返し読んだり暗記したりして、流暢に話せるまで練習してもらいます。また、中国語検定試験3級に合格できるように、試験問題を解くノウハウを丁寧に説明し、クラス全員で力を合わせて、目標を目指して頑張ってもらいます。

【到達目標】

中国語の勉強を通じて、中国・日本・アジアの文化について興味を感じ、更に理解できる。卒業後、様々な仕事場で習った知識を生かし活躍している場面を頭に思い浮かべながら、日々の努力によって語学力を徐々に高めることができる。また、中国語検定試験3級(中級レベル)に合格できるように、発音・文字・文法を全面的に学習しながら進めていく。卒業するまでに検定試験に合格するだけでなく、日常会話、仕事用語などが流暢に話せるように目指す。

授 業 計 画 ・ 内 容

1回目	前期の内容を総合的に復習し、仕事用の挨拶、自己紹介を流暢に話すことができる。
2回目	ビジネス会話、専門用語、検定試験問題を学習し、身につけることができる。
3回目	就職内定になった各職場の場面を設定し、リアルの表現を覚えることができる。
4回目	将来の職場にいる自分の姿を想像しながら、中国語でお客さんと会話をすることができる。
5回目	HSK三級書写問題を練習し、出来るだけ中国語の単語、漢字の書き方を身に付けることができる。
6回目	過去問を練習しながら、自分の足りないところを見つけることができる。
7回目	試験問題から出てきた言葉をしっかりと覚え、仕事場で使えるように活用することができる。
8回目	HSK 3 級試験を目指して、総合的に練習して、より良い学習方法を見つけることができる。
9回目	仕事用のビジネス会話を中心に練習し、様々な場面を設定して、臨機応変の能力を高めることができる。
10回目	水族館などの施設についての単語、案内用の会話を勉強し、仕事現場に臨む実能力を身につけることができる。
11回目	教室で仕事場を設置し、皆で実用会話を練習することができる。
12回目	後期の学習内容を全面的に復習し、授業効果を一層高めることができる。
13回目	期末試験前の総合的な復習、口頭試問の答えも十分に練習することができる
14回目	評価週 リスニング問題、会話、レポート
15回目	試験のまとめ、卒業後中国語を続けて勉強するように、中国語学習の重要性を再認識することができる。

準備学習
時間外学習

授業の前に復習、予習が必要で、単語、フレーズ、自己紹介の内容を常に暗記してください。就職内定になったら、将来の仕事現場を想像しながら、必要な中国語の会話を出来るだけ多く覚えてください。

評価方法

- 授業態度 (30%)
 - 小テスト (20%)
 - 定期テスト (50%)
- 割合で成績評価を行う。

【使用教科書・教材・参考書】

日常会話・ビジネス会話プリント、市販中国語検定試験問題集・会話教材等

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	グローバルコミュニケーション (Global Communication)	必修 選択	必修選択	年次	3	担当教員	ILC国際語学センター
	専攻名	水族館&マリンリゾート専攻	授業形態	講義・演習	総時間 (単位)	120 (8)	開講区分
		実施方法	対面授業と遠隔授業の併用			曜日・時限	月曜日 5時限、木曜日 2時限、土曜日 1・2時限

【授業の学習内容】

リスニング、リーディング、スピーキング、ライティングの4技能を統合的に学び、興味関心のあることについての簡単な文章の読み書き、また買い物やその他の日常生活についての平易な会話ができるようになる。

※担当教員：英語教授に関する資格を持ち、かつ英語教授経験が2年以上。主に専門学校で基礎英語の授業を担当。

【到達目標】

日常生活での情報・説明や、まとまりのある内容が理解できるようになる。また日常生活の話題について、出来事の説明、用件を伝えることができる。

授業計画・内容

回数	内容	オンデマンド	小テスト(対面授業と連動)
1回目	個人の情報(ライフステージ)に関する表現を学ぶ 間接疑問文を学ぶ	オンデマンド	小テスト(対面授業と連動)
2回目	段落を意識したメールの読み方、書き方を学ぶ	オンデマンド	小テスト(対面授業と連動)
3回目	スマホやPCの機能に関する表現を学ぶ [already/ yet]を用いた現在完了形を学ぶ	オンデマンド	小テスト(対面授業と連動)
4回目	ネット広告の読み方、書き方を学ぶ 代名詞としてのoneの使い方を学ぶ	オンデマンド	小テスト(対面授業と連動)
5回目	公共交通機関に関する単語を学ぶ 助動詞[would/could/should]を使った提案の表現を学ぶ	オンデマンド	小テスト(対面授業と連動)
6回目	求人広告を読み、志望動機の書き方を学ぶ 大文字やピリオドなど、基本的なルールを学ぶ	オンデマンド	小テスト(対面授業と連動)
7回目	中間試験	オンデマンド	振り返り。中間試験
8回目	意見や反応を示す単語を学習する [be going to/will]を使った未来についての表現を学ぶ	オンデマンド	中間試験解説、後期後半に向けて
9回目	語頭の/p/の発音を学ぶ。安心させる言葉、またその反応を学ぶ [at least]を用いた表現を学ぶ	オンデマンド	小テスト(対面授業と連動)
10回目	ものを失くす、見つける際の表現を学ぶ 単純過去形の使い方を学ぶ	オンデマンド	小テスト(対面授業と連動)
11回目	驚きを表す際の発音(ストレス)を学ぶ 驚いたことを示す、リアクションに関する表現を学ぶ	オンデマンド	小テスト(対面授業と連動)
12回目	都会の問題に関する表現を学ぶ 数量詞について学ぶ	オンデマンド	小テスト(対面授業と連動)
13回目	語末のyの発音を学ぶ。様々な状況での心配、また安心を示す際の表現を学ぶ [though]を使った反対意見の述べ方を学ぶ	オンデマンド	小テスト(対面授業と連動)
14回目	U4-6の振り返り	オンデマンド	振り返り
15回目	期末試験解説、後期に向けて	オンデマンド	期末試験。期末試験解説、後期に向けて

準備学習
時間外学習

授業内容の予習と復習を行うこと。

評価方法

小テストの正解率にて評価
(後期小テスト合計30回の正解率=100%で計算)

【使用教科書・教材・参考書】

EVOLVE3

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	グローバルコミュニケーション (Global Communication)	必修 選択	必修選択	年次	3	担当教員	ILC国際語学センター
		授業形態	講義・演習	総時間 (単位)	120 (8)	開講区分	後期
専攻名	水族館&マリンリゾート専攻	実施方法	対面授業と遠隔授業の併用		曜日・時限	月曜日 5時限、木曜日 2時限、土曜日 1・2時限	

【授業の学習内容】

リスニング、リーディング、スピーキング、ライティングの4技能を統合的に学び、興味関心のあることについての簡単な文章の読み書き、また買い物やその他の日常生活についての平易な会話ができるようになる。

※担当教員：英語教授に関する資格を持ち、かつ英語教授経験が2年以上。主に専門学校で基礎英語の授業を担当。

【到達目標】

日常生活での情報・説明や、まとまりのある内容が理解できるようになる。また日常生活の話題について、出来事の説明、用件を伝えることができる。

授業計画・内容

回数	内容	オンデマンド	小テスト(対面授業と連動)
1回目	TV番組や映画に関連する表現を学ぶ [(not) as...as]を用いた比較の表現を学ぶ	オンデマンド	小テスト(対面授業と連動)
2回目	映画のレビューを読み、書き方を学ぶ 映画に関する意見を述べる表現を学ぶ	オンデマンド	小テスト(対面授業と連動)
3回目	進捗を表す表現を学ぶ 現在完了形と現在完了進行形について学ぶ	オンデマンド	小テスト(対面授業と連動)
4回目	タイムマネジメントについての投稿を読む 物事が起こった際の時間を表す表現を学ぶ	オンデマンド	小テスト(対面授業と連動)
5回目	雇用、仕事に関する表現を学ぶ 助詞[can't, must not]を使った許可・禁止の表現を学ぶ	オンデマンド	小テスト(対面授業と連動)
6回目	履歴書を読む 履歴書の要点、構成を学ぶ	オンデマンド	小テスト(対面授業と連動)
7回目	中間試験	オンデマンド	振り返り。中間試験
8回目	材質に関する単語を学ぶ 単純現在形の受動態について学ぶ	オンデマンド	中間試験解説、後期後半に向けて
9回目	/u/, /ʊ/, /əʊ/ の発音を学ぶ。他人の選択に関して質問する際の表現を学ぶ [Now that I think...]などを用いた考えを変える際の表現を学ぶ	オンデマンド	小テスト(対面授業と連動)
10回目	句動詞[work out, set up, など]の表現を学ぶ	オンデマンド	小テスト(対面授業と連動)
11回目	/ʃ/, /ð/ の発音を学ぶ。了承を得る、了承を求める際の表現を学ぶ 言葉を和らげる表現[I guess / I feel like]を学ぶ	オンデマンド	小テスト(対面授業と連動)
12回目	事故に関する表現を学ぶ 不定代名詞について学ぶ	オンデマンド	小テスト(対面授業と連動)
13回目	語末のedの発音を学ぶ。自分の感情を述べる、相手の感情を尋ねる表現を学ぶ [in the end / "after all that"]の使い方を学ぶ	オンデマンド	小テスト(対面授業と連動)
14回目	U10-12の振り返り	オンデマンド	振り返り
15回目	期末試験解説、レベルB+に向けて	オンデマンド	期末試験。期末試験解説、後期に向けて

**準備学習
時間外学習**

授業内容の予習と復習を行うこと。

評価方法

小テストの正解率にて評価
(後期小テスト合計30回の正解率 = 100%で計算)

【使用教科書・教材・参考書】

EVOLVE3

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	デジタルクリエイト (Utilizing Digital Technology)	必修 選択	必修	年次	3	担当教員	岩永 晃延
		授業形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
専攻名	水族館&マリンリゾート専攻	実施方法	対面授業			曜日・時限	月曜日 5時限

【授業の学習内容】

1. 生き物たちの写真及び動画の撮り方
2. 動画編集について

※担当教員実務経験:株式会社ラック(婚礼前撮り):2018年~2020年
独立(屋号名SwagPhoto):2020年~現在継続中

【到達目標】

生き物たちの魅力を撮影し、思い通りの動画作成ができるようになる。

授 業 計 画 ・ 内 容

1回目	専門用語解説①
2回目	専門用語解説②
3回目	専門用語解説③
4回目	編集機能の解説①
5回目	編集機能の解説②
6回目	写真・動画の撮り方①
7回目	写真・動画の撮り方②
8回目	撮り方の実演①
9回目	撮り方の実演②
10回目	素材の選別
11回目	素材にする写真の編集
12回目	素材にする動画の準備
13回目	動画作成実演①
14回目	動画作成実演②
15回目	前期振り返り・まとめ
準備学習 時間外学習	生き物たちの魅力を見つけ、どうしても他人に伝わるか日頃から意識すること。
評価方法	授業態度:50%、知識習得度:50%

【使用教科書・教材・参考書】

無料動画編集アプリ

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	デジタルクリエイト (Utilizing Digital Technology)	必修 選択	必須	年次	3	担当教員	岩永 晃延
	専攻名	水族館&マリンリゾート専攻	授業形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分
		実施方法	対面授業			曜日・時限	月曜日 5時限

【授業の学習内容】

1. 生き物たちの写真及び動画の撮り方
2. 動画編集について

※担当教員実務経験:株式会社ラック(婚礼前撮り):2018年~2020年
独立(屋号名SwagPhoto):2020年~現在継続中

【到達目標】

生き物たちの魅力を撮影し、思い通りの動画作成ができるようになる。

授 業 計 画 ・ 内 容

1回目	著作権の注意事項・フリー音源の探し方
2回目	動画作成実演④
3回目	サムネイルの作り方
4回目	SNSの活用術
5回目	人気動画と制作したものを見比べる
6回目	卒業制作①
7回目	卒業制作②
8回目	卒業制作③
9回目	卒業制作④
10回目	卒業制作⑤
11回目	実際に投稿してみる
12回目	ネットリテラシーについて
13回目	投稿した動画への反応を見る
14回目	評価①
15回目	評価②
準備学習 時間外学習	時間外学習: 提出される課題を実施しレポート提出。推薦図書熟読。
評価方法	● 試 験 : 70点 ● 課 題 : 30点(課題提出状況及び出来栄)

【使用教科書・教材・参考書】

使用教材: 講師作成資料
参考図書: 「サクッとわかるビジネス教養 マネジメント」「アドラー関連書籍」「マーケティング見るだけノート」など

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	SDGs (Sustainable Development Goals)	必修 選択	必修	年次	3	担当教員	一般社団法人日本SDGs協会 三浦徹志
		授業形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
専攻名	水族館&マリンリゾート専攻	実施方法	対面授業と遠隔授業の併用			曜日・時限	木曜日 2時限

【授業の学習内容】

エス・ディー・ジーズ(SDGs)は、私たちが地球上で生きていくための課題、たくさんのハードルがあります。世界人口(80億人)と穀物・肉類の需給、資源の確保、気象など一国では解決できません。前期はSDGsの目標と各国の様子、後期はSDGsの活動(民間のSDGs経営)を調べましょう。安全に生命を維持するためには住む場所、健康、働ける公正な経済社会が必要。言葉や法律、科学の学習も必須。世界の協力が大切です(国際法、IMFなどの国際機関)。自然環境、湿地や湖沼・森林・熱帯雨林・農地・海洋などを大事にし、熱や水の安定した循環と生物多様性が土台です。温室効果ガス、廃プラ、地震や山火事等の災害、また国際紛争、エネルギー・食糧価格、貧困・飢餓など社会的弱者への対策も。多くの脆弱さ(ぜいじゃくさ:もろさ)を乗り越えるために193の国々が(国連で)17個の目標を宣言・約束しました。それがSDGs「誰一人取り残さない持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals)」。授業では文明を3千年遡って考えましょう。暦を作り農業や産業を興しました。一方大量消費、市場取引による富のかたよりの大きくなりました。 ※担当教員実務経験:大学、日本SDGs協会若者や社会人のSDGs活動の支援に従事

【到達目標】

①SDGsのねらいと行動・アクション、方法を理解する。「国づくり、制度づくり、経済の回転」に興味を持つ。国際会議、国際法「海洋法条約」や「森林原則(UNCED)」「ラムサール条約」「ワシントン条約」などを学ぶ。日本政府が持続可能な社会を目指して《骨太の方針》に掲げるSDGs計画「脱炭素社会の実現、Scope1.2.3」「自然環境・動物保護」「エネルギー基本政策」「人材育成・子育て・若者支援」「食糧安保」など重点政策をチェックし進路にも役立てましょう。 ②世界は自然、社会、経済という3つの側面からとらえられることを実感する。自然を土台に共同体社会、街や制度・ルールができ、安全に経営し、安心して働き、暮らせることを考えましょう。

授 業 計 画 ・ 内 容

1回目	シラバスの説明。基本解説:SDGsの成り立ちと目的。取り組み方(SDGsコンパス、バックキャストの方法)を紹介。
2回目	歴史とSDGs: 博多湾、板付遺跡等から学ぶ3千年前の古代文明と今日までの人間の暮らし。太陽を中心とした暦と農耕。世界の文明
3回目	生活三面とSDGs:「環境(太陽、水、穀物、土と生き物)」「社会(国家と地方、制度、納税、サービス)」「経済(営業の自由、労働、生産と消費)」
4回目	[校外演習:博多湾見学・調査] 九州の文化とSDGs:歴史と役割。自然環境・立地、海の状態。開かれた港湾と交通、都市の発達
5回目	①博多湾調査で得た知見・情報の整理②インターネットで統計データ・数値を収集。貨物、旅客航路・運輸、漁港、観光事業実績
6回目	①博多湾・板付遺跡の小レポート作成:分かったこと、気づいたこと。②レポートの書き方:サンプル指導。項目、記録、章立て、考察
7回目	〈中間テスト〉 レポート完成、発表、提出。(九州の歴史、地形、交流、サステナブルな文明に触れる)
8回目	世界とSDGs: 世界の国々の比較(データランキング)文化、経済規模。GDP、人口、石油埋蔵量、貿易量、ジェンダーギャップ等
9回目	世界の国々 ①アフリカ:エジプト共和国、南アフリカ共和国、カーナ共和国、コートジボワール、スーダン 産業、歴史、都市、政治、文化
10回目	②アフリカ:ケニア共和国、エチオピア連邦、中央アフリカ共和国、ルワンダ共和国、コンゴ共和国
11回目	SDGsゴールの学習:G1.貧困をなくそう G2.飢餓ゼロ:食料安全保障・農業促進 G3.すべての人に健康と福祉を
12回目	③中東(西アジア):シリア共和国、イスラエル国、パレスチナ自治政府、サウジアラビア王国、イラク王国、イラン・イスラーム共和国、アフガニスタン共和国
13回目	④アジア・オセアニア・南アメリカ:フィリピン等、オーストラリア、ペネセイラ共和国、コロンビア、チリ、アルゼンチン、パラグアイ共和国、ブラジル共和国、パナマ、ハイチ
14回目	期末テスト 8-13回で得た知識をもとにレポートを作成する。(その国の問題点。要点の整理と気づき、意見を述べる)
15回目	まとめ レポート提出。学習内容から関心・興味を持ったこと、得た知識、現実の世の中を振り返る。ポイントと理解。
準備学習 時間外学習	授業で出される課題の予習復習
評価方法	筆記試験(レポート):60% 実技試験(授業中の調べ学習、テキストの要点把握と発表の工夫、努力):20% 授業態度(積極性、聴く態度、他の受講生への協力など):20%
【使用教材・参考書】	
「60分でわかる!SDGs超入門」ハウンド著 機能聡子・佐藤寛監修 技術評論社刊、「世界の国々」朝日新聞出版編著、「これでわかる!SDGs」(株)大創産業編集発行 「地球環境問題がよくわかる本」浦野紘平他著オーム社	

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	SDGs	必修 選択	必修	年次	3	担当教員	一般社団法人日本SDGs協会 三浦徹志
	Sustainable Development Goals	授業形態	講義	総時間 (単位)	30	開講区分	後期
専攻名	水族館 & マリンリゾート専攻	実施方法	対面授業と遠隔授業の併用		(2)	曜日・時限	木曜日 2時限

【授業の学習内容】

後期は、SDGsのビジネスチャンス(機会)や具体的な活動例をみていき、実践を考えましょう。2015年国連決議「2030アジェンダ」には、人権や持続的経済成長について述べられています。実際にSDGsを行うのは営利企業や学校、病院、自治体など公益的セクター、または家庭や個人です。これらが長期的な視点で、収益を求めながらも同時に社会的課題を事業に取り入れ、環境負荷(Co2排出など)を減らす工夫をしたり、働き方を明るくフェアにする努力をすることでSDGsの各目標に近づこうとします。また経済産業省など国の政策(EVへのグリーン補助金等)のチェックなども必要です。SDGsは「人は生まれながらにして人権をもち、平等に幸福を追求する権利を付与されている」という考え方に立って「将来の世代へ続く豊かさ、低炭素社会の適度な経済成長」を残します。具体例として地域再生や町おこし、産業のゼロカーボン活動の事例等を調べましょう。長期的な経済成長を目指すサステナブル経営と資本市場の仕組み(お金の出資、ESG投資、コーポレートガバナンス、責任投資原則PRIなど)にも触れましょう。

※担当教員実務経験：日本SDGs協会理事、元大阪経済大学経営学部教授

【到達目標】

学んだSDGsの知識、理解をノートにまとめ、整理し、自身のSDGs計画として発表できるようになる。

授 業 計 画 ・ 内 容

1回目	予定説明 国連2030アジェンダとSDGs ゴール8 経済成長と働きがい。事例：F県M製作所 地元材料でチョコレート製造
2回目	経済とSDGs：長期的成長の経営 PRI責任投資原則、ESG投資 G9 産業育成・技術イノベーション 石川県K工業 中古エンジン再生
3回目	経済とSDGs： G9 産業育成・技術イノベーション サプライチェーン全体の脱Co2排出 例：F協同組合、A金属加工のCo2見える化
4回目	経済とSDGs： G 17.パートナーシップ 例：沖縄県K協同組合 離島の産業振興、過疎防止、三重県I町遊びプロジェクト
5回目	経営とSDGs： G 17.パートナーシップ 例：徳島県A株式会社 空き家のサテライトオフィス誘致
6回目	経営とSDGs： G4. 質の高い教育確保・生涯学習 例：大阪府Y福祉法人 アート教育による社会参加
7回目	小レポート作成 前半のSDG経営の例から得たことをまとめる。グループ討議。経済のゴール(1, 2, 8, 9, 17)の確認
8回目	後期後半の研究課題について <u>最終レポートの「わたしのSDGs経営提案」を準備</u> 。教育、人権、平和と公正な制度のゴール(4, 5, 16)などを確認
9回目	企業経営とSDGs：5.ジェンダー平等の達成・女性と女兒の能力強化、16.持続可能な開発のための平和促進、法制度、コンプライアンスorエクスプレイン
10回目	SDGs経営：コーポレートガバナンスコード；短期利益から長期利益へ。競争と市場評価。CSR(社会的責任)CSV(経済・社会の共通価値創造)
11回目	国際協定とSDGs：ESG投資、環境省GHGプラットフォーム COP(コッパ)21・IPCC(気候変動枠組) UNDP(国連開発機構) CDP(英国評価)
12回目	研究レポート作成 各自ワーク、PCで情報整理、まとめ。グループコミュニケーション。
13回目	レポート作成 各自ワーク、PCで情報整理、まとめ。プレゼンテーションの練習、ほかの人とコミュニケーションする。
14回目	期末テスト 研究レポート完成、質疑、意見交換 できた人はレポート提出
15回目	後期まとめ 発表 レポート提出
準備学習 時間外学習	授業で出される課題の予習復習
評価方法	筆記試験(レポート)60% 実技試験(授業中の調べ学習、テキストの要点把握と発表の工夫、努力)20% 授業態度(積極性、聴く態度、他の受講生への協力など)20%

【使用教材・参考書】

「国際連合の基礎知識」国際連合広報局 関西学院大学出版会、「FACT FULNESS」ハンス・ロスリング 日経BP、「カーボンニュートラルをめぐる世界の潮流 政策・マネー、コーポレートガバナンス」白井さゆり 文真堂、「図解でわかるカーボンリサイクル」エネルギー総合工学研究所 技評社、「SDGs思考」田瀬和夫 impress、「責任ある投資」水口 剛 岩波書店、「地球環境問題がよくわかる本」浦野紘平他 オーム社

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	水生生物飼育管理Ⅲ (Aquatic Animals and Plants Rearing Ⅲ)	必修 選択	必修	年次	3	担当教員	田中 侑弥/永富 敦也
		授業形態	演習	総時間 (単位)	60	開講区分	前期
専攻名	水族館&マリンリゾート専攻	実施方法	対面授業		(4)	曜日・時限	金曜日4・5時限 & 水曜日2・3時限
【授業の学習内容】							
<p>2年間で学んだ生物の様々な管理システム及びメンテナンス技術を生かし、校外での水槽設置(企画・営業・維持管理)を行う。</p> <p>※担当教員実務経験: 田中侑弥:水族館にて9年間、水生生物等の飼育業務に従事する。 永富敦也:水景アトリエ代表。アクアリウムデザイナー。</p>							
【到達目標】							
①プレゼンを用いた営業技術を身に付ける。 ②相手の要望に合わせて水槽の企画・レイアウト・維持管理ができる。 ③プロ意識を持った水槽のメンテナンスができる。							

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション、シラバス説明、班分け
2回目	水槽企画案プレゼンテーション作成・実演・営業、機材の選定及び発注書の作製、校内での試験運転①
3回目	水槽企画案プレゼンテーション作成・実演・営業、機材の選定及び発注書の作製、校内での試験運転①
4回目	水槽企画案プレゼンテーション作成・実演・営業、機材の選定及び発注書の作製、校内での試験運転①
5回目	水槽企画案プレゼンテーション作成・実演・営業、機材の選定及び発注書の作製、校内での試験運転①
6回目	水槽企画案プレゼンテーション作成・実演・営業、機材の選定及び発注書の作製、校内での試験運転①
7回目	水槽企画案プレゼンテーション作成・実演・営業、機材の選定及び発注書の作製、校内での試験運転①
8回目	水槽企画案プレゼンテーション作成・実演・営業、機材の選定及び発注書の作製、校内での試験運転①
9回目	水槽企画案プレゼンテーション作成・実演・営業、機材の選定及び発注書の作製、校内での試験運転①
10回目	水槽企画案プレゼンテーション作成・実演・営業、機材の選定及び発注書の作製、校内での試験運転①
11回目	水槽企画案プレゼンテーション作成・実演・営業、機材の選定及び発注書の作製、校内での試験運転①
12回目	水槽企画案プレゼンテーション作成・実演・営業、機材の選定及び発注書の作製、校内での試験運転①
13回目	水槽企画案プレゼンテーション作成・実演・営業、機材の選定及び発注書の作製、校内での試験運転①
14回目	水槽企画案プレゼンテーション作成・実演・営業、機材の選定及び発注書の作製、校内での試験運転①
15回目	水槽企画案プレゼンテーション作成・実演・営業、機材の選定及び発注書の作製、校内での試験運転①
準備学習 時間外学習	常日頃から実習室内の水槽設備をよく観察し、メンテナンスを行う。異常を発見した際は速やかに対処すること。 可能な限りショップや水族館等の見学を行ない、設備・生体・レイアウトをよく観察すること。
評価方法	■授業内評価: 80% ■授業出席率: 20%
【使用教科書・教材・参考書】	
第一・第二アクア実習室水槽	

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	水生生物飼育管理Ⅲ (Aquatic Animals and Plants Rearing Ⅲ)	必修 選択	必修	年次	3	担当教員	田中 侑弥/永富 敦也
専攻名	水族館 & マリンリゾート専攻	授業形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	後期
		実施方法	対面授業			曜日・時限	金曜日4・5時限 & 水曜日2・3時限
【授業の学習内容】 2年間で学んだ生物の様々な管理システム及びメンテナンス技術を生かし、校外での水槽設置(企画・営業・維持管理)を行う。 ※担当教員実務経験: 田中侑弥:水族館にて9年間、水生生物等の飼育業務に従事する。 永富敦也:水景アトリエ代表。アクアリウムデザイナー。							
【到達目標】 ①プレゼンを用いた営業技術を身に付ける。 ②相手の要望に合わせて水槽の企画・レイアウト・維持管理ができる。 ③プロ意識を持った水槽のメンテナンスができる。							

授 業 計 画 ・ 内 容	
1回目	現地での水槽立ち上げ・メンテナンス作業①
2回目	現地での水槽立ち上げ・メンテナンス作業②
3回目	現地での水槽立ち上げ・メンテナンス作業③
4回目	現地での水槽立ち上げ・メンテナンス作業④
5回目	現地での水槽立ち上げ・メンテナンス作業⑤
6回目	現地での水槽立ち上げ・メンテナンス作業⑥
7回目	現地での水槽立ち上げ・メンテナンス作業⑦
8回目	現地での水槽立ち上げ・メンテナンス作業⑧
9回目	現地での水槽立ち上げ・メンテナンス作業⑨
10回目	現地での水槽立ち上げ・メンテナンス作業⑩
11回目	現地での水槽立ち上げ・メンテナンス作業⑪
12回目	現地での水槽立ち上げ・メンテナンス作業⑫
13回目	現地での水槽立ち上げ・メンテナンス作業⑬
14回目	現地での水槽立ち上げ・メンテナンス作業⑭
15回目	水槽リセット・撤去、1年間の振り返り
準備学習 時間外学習	常日頃から実習室内の水槽設備をよく観察し、メンテナンスを行う。異常を発見した際は速やかに対処すること。 可能な限りショップや水族館等の見学を行ない、設備・生体・レイアウトをよく観察すること。
評価方法	■授業内評価: 80% ■授業出席率: 20%
【使用教科書・教材・参考書】 第一・第二アクア実習室水槽	

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	海洋生態 (Marine Ecology)	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	児玉 建
専攻名	水族館 & マリンリゾート専攻	授業形態	講義	総時間 (単位)	30	開講区分	前期
		実施方法	対面授業と遠隔授業の併用		(2)	曜日・時限	木曜日4時限

【授業の学習内容】

前期は海洋生態学を中心とし、後期は陸生動物も含めた進化生態学・行動生態学を中心として実施する。1年間を通して生態学の基礎を習得し、生物間の相互作用について理解を深める。特に、海洋の物理的・化学的特性を知り、海洋環境と生物の関係、海洋動物における個体間の相互関係などを学ぶ。
 ※担当教員実務経験：2022-2023年 同授業担当

【到達目標】

生態学の基礎的な考え方を習得する。また用語を理解する。海洋環境・生物の関わりを科学的に説明ができるようになる。

授業計画・内容

1回目	オリエンテーション - 生態学とは
2回目	海洋生態学の入口 - 海と陸の違い / 生物の分類 / 海洋環境
3回目	海洋生物の食物関係 - 食物連鎖 / 栄養段階 / 物質循環・エネルギー流
4回目	漂泳生態系① - 植物プランクトン / 一次生産
5回目	漂泳生態系② - 動物プランクトン / 日周鉛直移動
6回目	漂泳生態系③ - ネットン
7回目	中間試験 - 前半のまとめ
8回目	中間試験解説 - 前半のまとめ
9回目	底生生態系① - ベントス / 生物の分類 / 帯状分布
10回目	底生生態系② - サンゴ礁 / サンゴ礁にすむ生物
11回目	深海 - 深海の環境 / 深海にすむ生物 / 深海の生態系
12回目	統計学に慣れる - グラフの読み方・表し方
13回目	レポート課題 ※教員の出張等に伴う補講としても実施予定
14回目	期末試験 - 前期のまとめ
15回目	期末試験解説 - 前期のまとめ

**準備学習
時間外学習**

定期試験では、配布資料や授業内容から、正しい情報を理解して活用する能力を問う。これらの資料を用いてしっかりと復習を行い、その内容を他人に説明できるように練習しておくこと。

評価方法

■ 中間試験45点, 期末試験45点, レポート10点, 合計100点

【使用教科書・教材・参考書】

オリジナルの講義資料を用いるため教材を準備する必要はない。ただし講義内容は主に以下の文献を参考に作成しているため、更に深く勉強したい場合は役に立つ。
 ・生態学入門 第2版(日本生態学会 編 / 東京化学同人) ・シリーズ現代の生態学5 行動生態学(日本生態学会 編 / 共立出版)
 ・シリーズ現代の生態学10 海洋生態学(日本生態学会 編 / 共立出版)

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	海洋生態 (Marine Ecology)	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	児玉 建
専攻名	水族館 & マリンリゾート専攻	授業形態	講義	総時間 (単位)	30	開講区分	後期
		実施方法	対面授業と遠隔授業の併用		(2)	曜日・時限	木曜日4時限

【授業の学習内容】

前期は海洋生態学を中心とし、後期は陸生動物も含めた進化生態学・行動生態学を中心として実施する。1年間を通して生態学の基礎を習得し、生物間の相互作用について理解を深める。特に、海洋の物理的・化学的特性を知り、海洋環境と生物の関係、海洋動物における個体間の相互関係などを学ぶ。
 ※担当教員実務経験: 2022-2023年 同授業担当

【到達目標】

生態学の基礎的な考え方を習得する。また用語を理解する。海洋環境・生物の関わりを科学的に説明ができるようになる。

授 業 計 画 ・ 内 容

1回目	オリエンテーション - 進化とは
2回目	進化① - 適応度 / 自然淘汰
3回目	進化② - 種分化
4回目	種間競争 - 捕食-被食関係 / ロトカ・ヴォルテラの競争式
5回目	資源をめぐる競争 - タカハトゲーム
6回目	共進化 - 共生 / 寄生
7回目	中間試験 - 前半のまとめ
8回目	中間試験解説 - 前半のまとめ
9回目	性淘汰① - 同性間競争 / 配偶者選択
10回目	性淘汰② - 性的対立 / 配偶システム
11回目	社会行動 - 利他的行動 / 血縁選択
12回目	コミュニケーション - 信号の種類 / 正直な信号 / 騙しの信号
13回目	レポート課題 ※教員の出張等に伴う補講としても実施予定
14回目	期末試験 - 1年間のまとめ
15回目	期末試験解説 - 1年間のまとめ

準備学習
時間外学習

定期試験では、配布資料や授業内容から、正しい情報を理解して活用する能力を問う。これらの資料を用いてしっかりと復習を行い、その内容を他人に説明できるように練習しておくこと。

評価方法

■ 中間試験45点, 期末試験45点, レポート10点, 合計100点

【使用教科書・教材・参考書】

オリジナルの講義資料を用いるため教材を準備する必要はない。ただし講義内容は主に以下の文献を参考に作成しているため、更に深く勉強したい場合は役に立つ。
 ・生態学入門 第2版(日本生態学会 編 / 東京化学同人) ・シリーズ現代の生態学5 行動生態学(日本生態学会 編 / 共立出版)
 ・シリーズ現代の生態学10 海洋生態学(日本生態学会 編 / 共立出版)

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	気象学 (Meteorology)	必修 選択	必修	年次	3	担当教員	平田 雄也
	専攻名	水族館&マリンリゾート専攻	授業形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分
		実施方法	対面授業			曜日・時限	集中講義

【授業の学習内容】

地球の大気と海洋の事象・現象を探究し、大気と海洋の構造や運動を理解できるようになることで、マリンレジャー等を安全に執り行う知識を身につける。

※担当教員：学校法人日南学園 日南学園高等学校・中学校、学校法人大阪滋慶学園 滋慶学園高等学校にて従事。

【到達目標】

風や対流による様々な現象を理解させると共に気象の特徴を理解できるようになる。
 気温・気圧・風向・風速・水温・波浪・海流・潮位などの基本的な気象海洋観測に興味を持たせ、その経験を通して各種の気象や海洋の資料を活用できるようになる。

授 業 計 画 ・ 内 容

1回目	オリエンテーション、天気の種類と天気図①
2回目	天気の種類と天気図②
3回目	天気の種類と天気図③
4回目	天気の種類と天気図④
5回目	天気の種類と天気図⑤
6回目	風と波の種類①
7回目	風と波の種類②
8回目	風と波の種類③
9回目	風と波の種類④
10回目	風と波の種類⑤
11回目	潮と海の危険①
12回目	潮と海の危険②
13回目	潮と海の危険③
14回目	評価試験と振り返り
15回目	評価試験解説、前期振り返り
準備学習 時間外学習	授業で学んだ知識をもとに日頃から天気予報、天気図などを注意して観察すること。
評価方法	出席20% 評価試験50% 課題提出30%
【使用教科書・教材・参考書】	
オリジナルプリント	

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	気象学 (Meteorology)	必修 選択	必修	年次	3	担当教員	平田 雄也
	専攻名	水族館&マリンリゾート専攻	授業形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分
		実施方法	対面授業			曜日・時限	集中講義

【授業の学習内容】

地球の大気と海洋の事象・現象を探究し、大気と海洋の構造や運動を理解できるようになることで、マリンレジャー等を安全に執り行う知識を身につける。

※担当教員：学校法人日南学園 日南学園高等学校・中学校、学校法人大阪滋慶学園 滋慶学園高等学校にて従事。

【到達目標】

風や対流による様々な現象を理解させると共に気象の特徴を理解できるようになる。
 気温・気圧・風向・風速・水温・波浪・海流・潮位などの基本的な気象海洋観測に興味を持たせ、その経験を通して各種の気象や海洋の資料を活用できるようになる。

授業計画・内容

1回目	オリエンテーション、四季とマリンスポーツ①
2回目	四季とマリンスポーツ②
3回目	四季とマリンスポーツ③
4回目	四季とマリンスポーツ④
5回目	四季とマリンスポーツ⑤
6回目	様々な気象現象①
7回目	様々な気象現象②
8回目	様々な気象現象③
9回目	様々な気象現象④
10回目	様々な気象現象⑤
11回目	校外演習
12回目	
13回目	
14回目	評価試験と振り返り
15回目	評価試験解説、前期振り返り

準備学習
時間外学習

授業で学んだ知識をもとに日頃から天気予報、天気図などを注意して観察すること。

評価方法

出席20%
評価試験50%
課題提出30%

【使用教科書・教材・参考書】

オリジナルプリント

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	海洋環境学 (Marin Environmental Studies)	必修 選択	必須	年次	3	担当教員	高田 浩二
		授業形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
専攻名	水族館&マリンリゾート専攻	実施方法	対面授業			曜日・時限	月曜日2時限

【授業の学習内容】

地球は太陽系で唯一の水と生命をもつ惑星で、14億立方キロメートルの水を蓄えることから「水の惑星」と呼ばれている。中でも全水量の97.5%を占める海洋は地球の表面積の7割を覆い、最深部は1万メートルを越え、平均水深は3800メートルに達し地球上の天候や自然環境に大きな影響力をもっている。人類にとって海洋は、食料の提供だけでなく産業交易、歴史の形成、エネルギー資源の供給など古代より人々の営みに深く関わってきた。この他にも海洋は、芸術作品や文学作品のモチーフとなりスポーツやレジャーなどの余暇の場、さらに信仰の対象になる場合もあるなど人々を物心両面で支えている。海洋は人類にとって極めて重要な生活基盤であり、人類の存在は海洋に大きく依存している。このような海洋の存在について、前期は化学、物理、地学的な面からアプローチして、海洋の存在の重要性を学ぶ。
 ※担当教員実務経験：1988年6月～2016年6月まで海の中道海洋生態科学館に勤務し(2004年～2016年は館長を歴任)、その後、福山大学生命工学部海洋生物科学科教授を2019年3月まで歴任し現在、海と博物館研究所長を務める。水族館に限らず広く博物館学や学芸員養成課程にも携わり、福岡県内の大学でも教鞭をとってきた。

【到達目標】

そもそも私たちの住む地球がどれほど奇跡的な出来事の繰り返しで今日の環境ができていくのかについて、具体的な環境因子ごとに、例えば「光」という当たり前の存在が宇宙誕生から今までの悠久の時間の流れの中での影響についても関心を深める。

<具体的な目標>

目標① 私たちの住む地球の海洋がどのように誕生し今の環境になったかを気付くことができる。

目標② 地球上の様々な今ある環境因子が、海洋の存在に由来し生物生態系がそれらに依存していることに気付く。

目標③ 多くの海洋の環境課題の実態を知り、自分がどのように行動すべきか、具体的なイメージをつかむことができる。

授業計画・内容

1回目	目標① 海水はどこから来たのか。なぜ地球が水の惑星と呼ばれ、その水はどこから来たのかを考える。
2回目	目標② 海の色と海水の成分。海はなぜ青いのかについて考え、海域ごとに異なる青色の違いの理由と生物適応について考える。
3回目	目標② 「母なる海」の意味。なぜ、人々は海洋に母性を感じているのか、羊水の成分だけでなく言葉の意味からも考える。
4回目	目標① 海にはなぜ塩分があるのか。海水がしょっぱい理由、塩はどうやってできたか、その濃度にどのような意味があるのか。
5回目	目標② 陸水と海水の違いと水循環。地球上に淡水と海水の2つの環境がある理由と関係性から、地球上の水循環について考える。
6回目	目標② 海流の仕組みと生物への影響。地球で最も低い場所の海、海流にはどのような力が関与しているのか。また生物への影響は。
7回目	目標② 海洋の垂直分布と水平分布。海洋を陸から見ての垂直的な違いと水平的な違いをマクロな視点から考える。
8回目	目標③ 海水温の歴史と経年変化。海水温の変化を地球の歴史と共に探り、地球温暖化について考える。
9回目	目標③ 地球温暖化問題とCO2 (WS)。海水温上昇とCO2の関係を人々の暮らしをワークショップ形式でお互いに意見交換し学ぶ。
10回目	目標① 地球のプレート運動と海洋の関係。現在の地球の大陸の位置とプレート運動、地震の関係、生物進化にも大きな影響があることを知る。
11回目	目標② 海洋観測機器とその利用法。海洋環境の計測に使われる機器類と使い方を知る。
12回目	目標② 深海環境の特徴と生物適応。暗黒、低水温、高圧、貧餌の深海環境に深海生物はどう適応してきたのかを考える。
13回目	目標③ エネルギー供給源としての海洋。海水温や波浪、海洋風、地下資源として海洋を活用している実態を知る。
14回目	試験日。1～13回までの講義に対する評価試験、振り返り
15回目	試験評価 模範解答。試験解答をしながらの振り返り

準備学習 時間外学習

(目標①) できるだけ海洋に関する多くの博物館、水族館を見学、もしくはウェブサイト経由で訪問する。
 (目標②) 中学校時代の理科学習(物理、地学、生物、化学)を多面的な視点で振り返ってみる。
 (目標②) 日常の身の回りの出来事になぜ、どうしてという気持ちや視点で見つめなおす。
 (目標③) 海洋のもつ環境へのインパクトと環境問題を連携して想像する。

評価方法

毎回の講義に簡単な授業感想を書いて提出する。13回目のワークショップは制作物で評価する。中間テストは行わない。
 ●授業感想と制作物(10%)
 ●定期テスト(90%)
 上記の割合で成績評価を行う。

【使用教科書・教材・参考書】

教科書は特になし。以下の参考書を推奨する。

・日本の気候変動5000万年史 ブルーバックス 佐野貴司 ほか著 ・海はどうしてできたのか ブルーバックス 藤岡換太郎 著
 ・地球進化46億年の物語 ブルーバックス ロバート・ヘイゼン 著 ・はじめて学ぶ海洋学 ソフトカバー 横瀬 久芳 著

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	海洋環境学 (Marin Environmental Studies)	必修 選択	必須	年次	3	担当教員	高田 浩二
	専攻名	水族館&マリンリゾート専攻	授業形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限

【授業の学習内容】

地球は太陽系で唯一の水と生命をもつ惑星で、14億立方キロメートルの水を蓄えることから「水の惑星」と呼ばれている。中でも全水量の97.5%を占める海洋は地球の表面積の7割を覆い、最深部は1万メートルを越え、平均水深は3800メートルに達し地球上の天候や自然環境に大きな影響力をもっている。人類にとって海洋は、食料の提供だけでなく産業交易、歴史の形成、エネルギー資源の供給など古代より人々の営みに深く関わってきた。この他にも海洋は、芸術作品や文学作品のモチーフとなりスポーツやレジャーなどの余暇の場、さらに信仰の対象になる場合もあるなど人々を物心両面で支えている。海洋は人類にとって極めて重要な生活基盤であり、人類の存在は海洋に大きく依存している。このような海洋の存在について、前期は主に生物学や進化学、環境学的な面からアプローチして、海洋の存在の重要性を学ぶ。
 ※担当教員実務経験:1988年6月～2016年6月まで海の中道海洋生態科学館に勤務し(2004年～2016年は館長を歴任)、その後、福山大学生命工学部海洋生物科学科教授を2019年3月まで歴任し現在、海と博物館研究所長を務める。水族館に限らず広く博物館学や学芸員養成課程にも携わり、福岡県内の大学でも教鞭をとってきた。

【到達目標】

そもそも私たちの住む地球がどれほど奇跡的な出来事の繰り返しで今日の環境ができていくのかについて、具体的な環境因子ごとに、例えば「光」という当たり前の存在が宇宙誕生から今までの悠久の時間の流れの中での影響についても関心を深める。

<具体的な目標>

- 目標① 私たちの住む地球の海洋がどのように誕生し今の環境になったかを気付くことができる。
- 目標② 地球上の様々な今ある環境因子が、海洋の存在に由来し生物生態系がそれらに依存していることに気付く。
- 目標③ 多くの海洋の環境課題の実態を知り、自分がどのように行動すべきか、具体的なイメージをつかむことができる。

授 業 計 画 ・ 内 容

1回目	目標②③ 生物多様性と海洋環境。生物多様性とは何か、海洋の存在がどのように、どの程度、関わっているのかを考える。
2回目	目標① 地球環境の変容と生物進化。地球誕生から今日までの海洋環境変化と生物進化がどのような関係であったかを知る。
3回目	目標③ 魚類の生理・生態と海洋環境。海洋環境が、魚類の生理や生態にどのように影響を与えたかを知る。
4回目	目標①② 光と視覚と眼の関係。光の影響を受けて、水中生物の目の構造と視覚にどう影響を与えているかを学ぶ。
5回目	目標③ 海洋における持続可能な漁業。SDG'sの14番目の目的達成のために我々は何をしたらよいかを考える。
6回目	目標② 魚類の繁殖戦略と海洋環境、魚類は繁殖戦略に海洋環境をどう活用しているかについて考える。
7回目	目標② 砂浜、磯、干潟の役割。海岸環境の大きな3つの環境の違いと生物学的役割について学ぶ。
8回目	目標②③ 海洋における植物・海藻の役割。海藻、海草、植物プランクトンの違いと海洋環境への影響を学ぶ。
9回目	目標③ 海洋における食物連鎖 (WS)。食物連鎖の仕組みをワークショップで考える。
10回目	目標② 鯨類の生理・生態と海洋環境。鯨類は繁殖戦略に海洋環境をどう活用しているかを知る。
11回目	目標②③ 海洋生物の体から得たヒトの暮らし。生物進化に長く適応した海洋生物から得た私たちヒトの生活の知恵を知る。
12回目	目標①③ 生物進化上の大絶滅とこれから。地球誌の中での生物大絶滅と海洋環境の感懐を学び、今後のあり方考える。
13回目	目標②③ 奇跡の環境 日本列島。他国にない島国日本の奇跡的な生態系と海洋の存在について考える。
14回目	試験日。1～13回までの講義に対する評価試験、振り返り
15回目	試験評価 模範解答。試験解答をしながらの振り返り

**準備学習
時間外学習**

(目標①) できるだけ海洋に関する多くの博物館、水族館を見学、もしくはウェブサイト経由で訪問する。
 (目標②) 中学校時代の理科学習(物理、地学、生物、化学)を多面的な視点で振り返ってみる。
 (目標②) 日常の身の回りの出来事になぜ、どうしてという気持ちや視点で見つめなおす。
 (目標③) 海洋のもつ環境へのインパクトと環境問題を連携して想像する。

評価方法

毎回の講義に簡単な授業感想を書いて提出する。13回目のワークショップは制作物で評価する。中間テストは行わない。
 ●授業感想と制作物(10%)
 ●定期テスト(90%)
 上記の割合で成績評価を行う。

【使用教科書・教材・参考書】

教科書は特になし。以下の参考書を推奨する。
 ・日本の気候変動5000万年史 ブルーバックス 佐野貴司 ほか著 ・海はどのようにできたのか ブルーバックス 藤岡換太郎 著
 ・地球進化46億年の物語 ブルーバックス ロバート・ヘイゼン 著 ・はじめて学ぶ海洋学 ソフトカバー 横瀬 久芳 著

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	マリンリスクマネジメント (Marine Risk management Studies)	必修 選択	必修	年次	3	担当教員	藤本 操
	専攻名	水族館&マリンリゾート専攻	授業形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分
		実施方法	対面授業			曜日・時限	水曜日4時限

【授業の学習内容】

マリンレジャーにおける実際の事故等を基に危険を予知・回避するための知識・スキルを学ぶ。

※担当教員実務経験: 国営海の中道海浜公園官民連携推進事業 マリンアクティビティ担当インストラクター/一社) 九州アドベンチャーツーリズム協議会 代表理事

【到達目標】

アドベンチャーツーリズムガイドのSUPインストラクターとして即戦力で現場に求められる知識・技術を学ぶ。
また年間4回のフィールド実技演習を通じて、操縦技法、インストラクションを実践しながら身に着ける。
フィールド実技演習は下記の点を重点項目とする。

- ①修了試験: 普通救命講習1
- ②安全管理: レスキュー・ファーストエイド
- ③インストラクション: サーフィン・フィッシング・SUP・カヤック

授 業 計 画 ・ 内 容

1回目	シラバスの説明・イントロダクション
2回目	
3回目	①フィールド実技演習 SUP・カヤック実習 バッジテスト4級 海の中道海浜公園
4回目	
5回目	
6回目	リスクマネジメントの基礎知識 心構え、道具の点検留意箇所について理解し説明できる。
7回目	リスクマネジメントの基礎知識 気象、出航前準備について理解し説明できる。
8回目	
9回目	①フィールド実技演習 フィッシング実習 奈多海岸
10回目	
11回目	
12回目	リスクマネジメントの基礎知識 危険予知と対応について理解し説明できる。
13回目	前期授業のまとめ
14回目	前期評価試験及び振り返り
15回目	前期フィールド実技演習の振り返り
準備学習 時間外学習	<ul style="list-style-type: none"> ・インストラクターが担う役割を理解し、各地のマリンアクティビティの取り組みを調べる。 ・フィールド実技演習の内容について、各自で復習を行い身に付ける。
評価方法	授業態度 20% 筆記試験 40% フィールド実技実習参加状況 40%

【使用教科書・教材・参考書】

一社) 日本SUP指導者協会 「for OFFICIAL INSTRUCTOR LEVEL 2 テキストブック」

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	マリンリスクマネジメント (Marine Risk management Studies)	必修 選択	必修	年次	3	担当教員	藤本 操
専攻名	水族館&マリンリゾート専攻	授業形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
		実施方法	対面授業			曜日・時限	水曜日4時限

【授業の学習内容】

マリンレジャーにおける実際の事故等を基に危険を予知・回避するための知識・スキルを学ぶ。

※担当教員実務経験: 国営海の中道海浜公園官民連携推進事業 マリンアクティビティ担当インストラクター/一社) 九州アドベンチャーツーリズム協議会 代表理事

【到達目標】

アドベンチャーツーリズムガイドのSUPインストラクターとして即戦力で現場に求められる知識・技術を学ぶ。
また年間4回のフィールド実技演習を通じて、操縦技法、インストラクションを実践しながら身に着ける。
フィールド実技演習は下記の点を重点項目とする。

- ①修了試験: 普通救命講習1
- ②安全管理: レスキュー・ファーストエイド
- ③インストラクション: サーフィン・フィッシング・SUP・カヤック

授 業 計 画 ・ 内 容

1回目	リスクマネジメントの基礎知識 事故事例検証①	
2回目	③フィールド実技演習 SUP・カヤック実習 バッジテスト2級 海の中道海浜公園	
3回目		
4回目		
5回目		
6回目		リスクマネジメントの基礎知識 事故事例検証②
7回目	アウトドアイベント実践論(イベント企画)	
8回目	普通救命救急1	
9回目	④フィールド実技演習 立花山トレッキング	
8回目		
9回目		
10回目		
13回目	後期授業のまとめ	
14回目	後期評価試験および振り返り	
15回目	後期フィールド実技演習の振り返り	
準備学習 時間外学習	<ul style="list-style-type: none"> ・インストラクターが担う役割を理解し、各地のマリンアクティビティの取り組みを調べる ・フィールド実技演習の内容について、各自で復習を行い身につける。 	
評価方法	授業態度 20% 筆記試験 40% ルド実技実習参加状況 40%	フィー

【使用教科書・教材・参考書】

一社) 日本SUP指導者協会 「for OFFICIAL INSTRUCTOR LEVEL 1 テキストブック」

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	マリンレジャー (Marine Leisure Studies)	必修 選択	必修	年次	3	担当教員	藤本 操
	専攻名	水族館&マリンリゾート専攻	授業形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分
		実施方法	対面授業			曜日・時限	水曜日5時限

【授業の学習内容】

海で行う様々なレジャーやアドベンチャーツーリズムを実践を含め学びます。また、用具・道具の名称や使い方から管理・手入れ方法まで学びます。

※担当教員実務経験: 国営海の中道海浜公園官民連携推進事業 マリンアクティビティ担当インストラクター(一社)九州アドベンチャーツーリズム協議会 代表理事

【到達目標】

アドベンチャーツーリズムガイドのSUPインストラクターとして即戦力で現場に求められる知識・技術を学ぶ。
また年間4回のフィールド実技演習を通じて、操縦技法、インストラクションを実践しながら身に付ける。

フィールド実技演習は下記の点を重点項目とする。

- ①検定試験: バッジテスト4級・3級・2級・1級
- ②安全管理: レスキュー・ファーストエイド
- ③インストラクション: SUP・カヤック

授 業 計 画 ・ 内 容

1回目	シラバスの説明・イントロダクション
2回目	ガイド・インストラクター概論
3回目	
4回目	①フィールド実技演習 サーフィン実習 三苦海岸
5回目	
6回目	
7回目	マリンアクティビティのフィールド別種目の違いを理解し説明できる。
8回目	アドベンチャーツーリズム観光学
9回目	
10回目	②フィールド実技演習 SUP・カヤック実習 バッジテスト3級 海の中道海浜公園
11回目	
12回目	
13回目	前期授業のまとめ
14回目	前期評価試験及び振り返り
15回目	前期フィールド実技演習の振り返り
準備学習 時間外学習	<ul style="list-style-type: none"> ・アドベンチャーツーリズムでのガイド・インストラクターが担う役割を理解し、各地のマリンアクティビティの取り組みを調べる。 ・フィールド実技演習の内容について、各自で復習を行い身に付ける。
評価方法	授業態度 20% 筆記試験 40% フィールド実技実習参加状況 40%

【使用教科書・教材・参考書】

一社)日本SUP指導者協会 「for OFFICIAL INSTRUCTOR LEVEL 2 テキストブック」

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	マリンレジャー (Marine Leisure Studies)	必修 選択	必修	年次	3	担当教員	藤本 操
	専攻名	水族館&マリンリゾート専攻	授業形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限

【授業の学習内容】

海で行う様々なレジャーやアドベンチャーツーリズムを実践を含め学びます。また、用具・道具の名称や使い方から管理・手入れ方法まで学びます。

※担当教員実務経験: 国営海の中道海浜公園官民連携推進事業 マリンアクティビティ担当インストラクター(一社)九州アドベンチャーツーリズム協議会 代表理事

【到達目標】

アドベンチャーツーリズムガイドのSUPインストラクターとして即戦力で現場に求められる知識・技術を学ぶ。
また年間4回のフィールド実技演習を通じて、操縦技法、インストラクションを実践しながら身に着ける。

フィールド実技演習は下記の点を重点項目とする。

- ①検定試験: バッジテスト4級・3級・2級・1級
- ②安全管理: レスキュー・ファーストエイド
- ③インストラクション: SUP・カヤック

授 業 計 画 ・ 内 容

1回目	自然環境・野外教育概論
2回目	SDGs概論 フィンランド文化
3回目	③フィールド実技演習 サウナ・モルック 篠栗 ウェルビレッジうりうの
4回目	
5回目	
6回目	
7回目	アウトドアイベント実践論(イベント企画)
9回目	④フィールド実技演習 アウトドアイベント 海の中道海浜公園
10回目	
11回目	
12回目	
13回目	普通救命救急1
14回目	前期授業のまとめ
13回目	前期評価試験及び振り返り
15回目	前期フィールド実技演習の振り返り

準備学習
時間外学習

- ・アドベンチャーツーリズムでのガイド・インストラクターが担う役割を理解し、各地のマリンアクティビティの取り組みを調べる。
- ・フィールド実技演習の内容について、各自で復習を行い身につける。

評価方法

- 授業態度 20%
- 筆記試験 40%
- フィールド実技実習参加状況 40%

【使用教科書・教材・参考書】

一社)日本SUP指導者協会 「for OFFICIAL INSTRUCTOR LEVEL 2 テキストブック」

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	企業プロジェクトⅢ (Company Project Ⅲ)	必修 選択	必修	年次	3	担当教員	各企業実務従事者
	専攻名	水族館&マリンリゾート専攻	授業形態	演習	総時間 (単位)	90 (6)	開講区分
		実施方法	対面授業			曜日・時限	金曜日1、2、3時限

【授業の学習内容】

様々な動物業界で即戦力として活躍できる人材を育成するために、企業より課題を頂き、それに取り組むことにより、1年間授業で学んだ専門知識・技術に磨きをかけ、プロとしてのスタートラインに立てる実力を身に付ける。

※担当教員実務経験:研修先にて実務に従事している方より指導頂く。

【到達目標】

- ・企業から頂く課題(プロジェクト)を理解し、企画立案ができるようになる。
- ・アイデアや意見を出し、企画書を作成できるようになる。
- ・企業に対して、プレゼンテーションができるようになる。
- ・課題(プロジェクト)のイベント運営や商品化される。
- ・業務を行う上で必要なコミュニケーション力を身につけることができる。

授 業 計 画 ・ 内 容

1回目	企業プロジェクトとは① ～企業プロジェクトの意義や目的・目標を明確にする～
2回目	企業プロジェクトとは② ～過去の企業プロジェクトの事例紹介～
3回目	企業プロジェクトの進め方 ～発表までの流れやスケジューリングの確認～
4回目	オリエンテーション① ～企業から課題を頂く～
5回目	オリエンテーション② ～質疑応答～
6回目	企画立案① ～オリエンテーションを基にグループにて話し合い①～
7回目	企画立案② ～オリエンテーションを基にグループにて話し合い②～
8回目	企画立案③ ～オリエンテーションを基にグループにて話し合い③～
9回目	企画立案④ ～オリエンテーションを基にグループにて話し合い④～
10回目	企画立案⑤ ～オリエンテーションを基にグループにて話し合い⑤～
11回目	現地視察・調査①
12回目	現地視察・調査②
13回目	現地視察・調査③
14回目	現地視察・調査④
15回目	現地視察・調査まとめ
準備学習 時間外学習	<ul style="list-style-type: none"> ・各自(各班)で意見交換を随時行う。 ・プレゼンテーションで頂いた意見を次に繋げる学習をする。 ・パワーポイントにまとめる
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・発表(報告)内容:50% ・課題への参加度・出席:20% ・日々の取り組み30%

【使用教科書・教材・参考書】

現場での施設備品、道具類

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	企業プロジェクトⅢ (Company Project Ⅲ)	必修 選択	必修	年次	3	担当教員	各企業実務従事者
	専攻名	水族館&マリンリゾート専攻	授業形態	演習	総時間 (単位)	90 (6)	開講区分
		実施方法	対面授業			曜日・時限	金曜日1、2、3時限

【授業の学習内容】

様々な動物業界で即戦力として活躍できる人材を育成するために、企業より課題を頂き、それに取り組むことにより、1年間授業で学んだ専門知識・技術に磨きをかけ、プロとしてのスタートラインに立てる実力を身に付ける。

※担当教員実務経験：研修先にて実務に従事している方より指導頂く。

【到達目標】

- ・企業から頂く課題(プロジェクト)を理解し、企画立案ができるようになる。
- ・アイデアや意見を出し、企画書を作成できるようになる。
- ・企業に対して、プレゼンテーションができるようになる。
- ・課題(プロジェクト)のイベント運営や商品化される。
- ・業務を行う上で必要なコミュニケーション力を身につけることができる。

授 業 計 画 ・ 内 容

1回目	プランニング・コミュニケーション①-1
2回目	プランニング・コミュニケーション①-2
3回目	プランニング・コミュニケーション①-3
4回目	プランニング・コミュニケーション①-4
5回目	プランニング・コミュニケーション①-5
6回目	プレゼンテーション①
7回目	プレゼンテーション②質疑応答
8回目	プランニング・コミュニケーション②-1
9回目	プランニング・コミュニケーション②-2
10回目	プランニング・コミュニケーション③-3
11回目	イベント運営・商品化①
12回目	イベント運営・商品化②
13回目	イベント運営・商品化③
14回目	まとめ①
15回目	まとめ発表

準備学習
時間外学習

- ・各自(各班)で意見交換を随時行う。
- ・プレゼンテーションで頂いた意見を次に繋げる学習をする。
- ・パワーポイントにまとめる

評価方法

- ・発表(報告)内容:50%
- ・課題への参加度・出席:20%
- ・日々の取り組み30%

【使用教科書・教材・参考書】

現場での施設備品、道具類

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	卒業課題 (Graduation Study)	必修 選択	必修	年次	3	担当教員	熊谷 亮太郎
	専攻名	水族館&マリンリゾート専攻	授業形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分
		実施方法	対面授業			曜日・時限	随時

【授業の学習内容】

学んだ専門知識や技術の集大成として、学習成果が卒業に値する実力を修得しているか課題に取り組み、課題の研究発表または実技の披露を行う。

【到達目標】

学習成果(知識・技術)をパワーポイントやポスター展示、実技披露として発表。

授業計画・内容

1回目	卒業課題とは① ～卒業課題の意義や目的・目標を明確にする～
2回目	卒業課題とは② ～過去の先輩たちの事例紹介～
3回目	卒業課題の進め方 ～発表までの流れやスケジューリングの確認～
4回目	テーマの決定 ～テーマを班内でのディスカッションで探す～
5回目	実践学習① ～自分(班)のテーマに沿って仮説と実証実験～
6回目	実践学習② ～途中経過の報告～
7回目	実践学習③ ～前回のアドバイスを基に発表内容を改良する～
8回目	発表準備① ～パワーポイント作成～
9回目	発表準備② ～パワーポイント作成～
10回目	発表準備③ ～パワーポイント作成～
11回目	発表準備④ ～パワーポイント作成～
12回目	発表準備⑤ ～パワーポイント作成～
13回目	発表①
14回目	発表②
15回目	卒業課題の振り返り ～各自(班内)で意見交換、発表～

準備学習
時間外学習

各自(各班)で意見交換を随時行う。
また、もらった意見を次に繋げる学習をすること。

評価方法

- ・発表内容:80%
- ・課題への参加度:20%

【使用教科書・教材・参考書】

専門基礎科目テキスト4冊／株式会社 滋慶出版

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	業界研修 (Business internship)	必修 選択	必修選択	年次	3	担当教員	各施設実務従事者
	専攻名	水族館&マリンリゾート専攻	授業形態	演習	総時間 (単位)	90 (6)	開講区分
		実施方法	対面授業			曜日・時限	随時

【授業の学習内容】

学生が目指す業界の企業または、それに準ずる組織・施設・個人等で研修(インターンシップ)を行う。このカリキュラムは業界のプロフェッショナルになるという大きな目標を前に、自身の進路を明確にするとともに各業界施設での「身構え・気構え・心構え」を知り、就職活動とする。

※担当教員実務経験:研修先にて実務に従事している方より指導頂く。

【到達目標】

- ・業界へのイメージと現実のギャップを軽減させる。
- ・実際の動物業界での研修を通じ、仕事の流れや職場でのコミュニケーションを図ることができるようになる。
- ・社会の成り立ち、社会人としてのマナーやルールを実体験で学び身に付ける。
- ・自らの「キャリア」をデザインできる。

授 業 計 画 ・ 内 容

1回目	インターンシップ参加における目的の確認と目標設定
2回目	企業研究、履歴書作成
3回目	インターンシップ参加
4回目	インターンシップ参加
5回目	インターンシップ参加
6回目	インターンシップ参加
7回目	インターンシップ参加
8回目	インターンシップ参加
9回目	インターンシップ参加
10回目	インターンシップ参加
11回目	インターンシップ参加
12回目	インターンシップ参加
13回目	インターンシップ参加
14回目	研修ノートのまとめ、お礼状作成、レポート作成
15回目	報告会
準備学習 時間外学習	・事前に企業研究、インターンシップ先の選定活動 ・インターンシップ後の研修ノートまとめ、レポート作成
評価方法	・研修ノート内容及び提出(80%) ・インターンシップ先企業からの評価表(20%) これらを総合的に判断して評価

【使用教科書・教材・参考書】

キャリアセンターの参考情報

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	特別講義&見学 (Special Lecture)	必修 選択	必修 選択	年次	3	担当教員	各施設実務従事者
		授業形態	演習	総時間 (単位)	15 (1)	開講区分	随時
専攻名	水族館&マリンリゾート専攻	実施方法	<small>対面授業授業と遠隔授業の併用</small>			曜日・時限	随時

【授業の学習内容】

各業界で活躍で活躍中のプロフェッショナルから豊富な知識や技術、情報を頂くことで、将来のキャリアデザインに役立てる。
学内やオンラインを使用し講義を行い、実際に施設に訪問する。

※担当教員実務経験:訪問先施設にて実務に従事している方より指導頂く。

【到達目標】

- ・動物業界に必要な知識や技術を理解し、身に付ける。
- ・動物業界に必要な人間力を理解し、身に付ける。
- ・これから動物業界で必要となってくる専門性と人間性を知る。
- ・授業、演習、インターンシップに活かすことができる。

授 業 計 画 ・ 内 容

1回目	特別講義・見学施設の事前学習、まとめ
2回目	特別講義もしくは施設見学
3回目	特別講義もしくは施設見学
4回目	特別講義もしくは施設見学
5回目	特別講義もしくは施設見学
6回目	特別講義もしくは施設見学
7回目	特別講義もしくは施設見学
8回目	レポート作成
9回目	
10回目	
11回目	
12回目	
13回目	
14回目	
15回目	
準備学習 時間外学習	・特別講義内容もしくは見学施設の事前学習 ・講義後もしくは見学後のレポートのまとめ
評価方法	・レポート(100%)

【使用教科書・教材・参考書】

キャリアセンターの参考情報

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	イベント運営 (Event Management)	必修 選択	必修選択	年次	3	担当教員	各イベント実務従事者
専攻名	水族館&マリンリゾート専攻	授業形態	演習	総時間 (単位)	15 (1)	開講区分	随時
		実施方法	対面授業			曜日・時限	随時

【授業の学習内容】

学習成果の発表の場としてのイベントを行い、修得した専門知識や技術を実践する。
企画立案から運営まで学生主体となって実践し、接客力、コミュニケーション力も上げる。

※担当教員：各イベントにおける実務従事者より指導頂く。

【到達目標】

- ・企画立案、運営ができるようになる。
- ・マネジメント(セルフ・チーム・リスク)を理解し、実践できるようになる。
- ・接客を知り、実践できるようになる。
- ・ホスピタリティマインドを理解し、実践できる。
- ・予算管理を実践し習得する。
- ・スケジュールリングを理解し、実践できる。

授 業 計 画 ・ 内 容

1回目	企業からのプレゼンテーション～イベントの概要の共有、スケジュール～
2回目	イベントの企画立案①
3回目	イベントの企画立案②
4回目	企業へのプレゼンテーション
5回目	イベント準備①
6回目	イベント準備②
7回目	実施日～実演、展示、発表～
8回目	まとめ～レポートにまとめ、各班で発表～
9回目	
10回目	
11回目	
12回目	
13回目	
14回目	
15回目	
準備学習 時間外学習	<ul style="list-style-type: none"> ・各自、目的に沿った案を考える ・イベント後レポートにまとめる
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・準備(50%) ・レポート(50%)

【使用教科書・教材・参考書】

過去のイベント資料

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	特別課外活動 (Club Activities)	必修 選択	必修選択	年次	3	担当教員	各クラブ顧問
		授業形態	演習	総時間 (単位)	15 (1)	開講区分	随時
専攻名	水族館&マリンリゾート専攻	実施方法	対面授業			曜日・時限	随時

【授業の学習内容】

学生会活動やクラブ活動を通してチームワークや企画、運営力を養う。

【到達目標】

- ・チームワークを身に付ける。
- ・計画性を身に付ける。
- ・予算管理を身に付ける。
- ・マネジメントを理解し身に付ける。

授 業 計 画 ・ 内 容

1回目	各クラブにおける目的の確認
2回目	各クラブ活動を実践
3回目	各クラブ活動を実践
4回目	各クラブ活動を実践
5回目	各クラブ活動を実践
6回目	各クラブ活動を実践
7回目	各クラブ活動を実践
8回目	各クラブ活動を実践
9回目	
10回目	
11回目	
12回目	
13回目	
14回目	
15回目	
準備学習 時間外学習	・日報や日誌、報告書を作成すること。
評価方法	・クラブ活動態度(100%)

【使用教科書・教材・参考書】

・各クラブ活動月報、日報、日誌、報告書

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	ボランティア活動 (Volunteer Work)	必修 選択	必修選択	年次	3	担当教員	各施設実務従事者
	専攻名	水族館&マリンリゾート専攻	授業形態	演習	総時間 (単位)	15 (1)	開講区分
		実施方法	対面授業			曜日・時限	随時

【授業の学習内容】

市民社会の形成に貢献するために様々な形のボランティア活動を行う。

※担当教員：各施設・イベントにおける実務従事者より指導頂く。

【到達目標】

- ・ボランティア活動の目的を理解し、実践することで奉仕する心を身に付ける。
- ・社会の中の自分の存在を理解し、社会貢献の意識を持つことができるようになる。

授 業 計 画 ・ 内 容

1回目	プレゼンテーション～主催者からの趣旨説明～
2回目	ボランティア活動
3回目	ボランティア活動
4回目	ボランティア活動
5回目	ボランティア活動
6回目	ボランティア活動
7回目	ボランティア活動
8回目	まとめ～レポート、報告会～
9回目	
10回目	
11回目	
12回目	
13回目	
14回目	
15回目	
準備学習 時間外学習	実施前後のレポートのまとめを行うこと。
評価方法	レポート(100%)
【使用教科書・教材・参考書】	
過去のボランティア活動報告書	

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	資格取得講座 (Seminar for a Qualification)	必修 選択	必修選択	年次	3	担当教員	熊谷 亮太郎
	専攻名	水族館&マリンリゾート専攻	授業形態	演習	総時間 (単位)	15 (1)	開講区分 曜日・時限
【授業の学習内容】							
各専攻で学んだ専門知識や技術の更なるレベルアップを図るために、検定試験に挑戦し、資格取得を目指す。							
【到達目標】							
各検定試験、資格試験の合格							

授業計画・内容	
1回目	資格試験対策講座、検定試験対策、演習
2回目	資格試験対策講座、検定試験対策、演習
3回目	資格試験対策講座、検定試験対策、演習
4回目	資格試験対策講座、検定試験対策、演習
5回目	資格試験対策講座、検定試験対策、演習
6回目	資格試験対策講座、検定試験対策、演習
7回目	資格試験対策講座、検定試験対策、演習
8回目	資格検定試験
9回目	
10回目	
11回目	
12回目	
13回目	
14回目	
15回目	
準備学習 時間外学習	毎回の授業前後の資格検定対策教本の予習、復習を行うこと。
評価方法	資格取得、検定合格(100%)
【使用教科書・教材・参考書】	
過去の各検定、資格教本	

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	内定者研修 (Practical Training For Prospective Employees)	必修 選択	必修選択	年次	3	担当教員	就職内定先企業実務従事者
	専攻名	水族館&マリンリゾート専攻	授業形態	演習	総時間 (単位)	90 (6)	開講区分
		実施方法	対面授業			曜日・時限	随時
<p>【授業の学習内容】</p> <p>就職内定者を対象に、就職内定先で実践的な研修など現場経験を積むことで、卒業時に即戦力として活躍できるようになる。</p> <p>※担当教員実務経験：就職内定先にて実務に従事している方より指導頂く。</p>							
<p>【到達目標】</p> <p>1. 就職内定先で業務を行う上で必要な経験を積み、卒業時には即戦力として活躍できる人材になる。 2. 就職内定先で業務を行う上で必要な専門知識・技術を身につけ、就職内定先に貢献できる人材になる。 3. 就職内定先で業務を行う上で必要なコミュニケーション力を身につけ、就職内定先に貢献できる人材になる。</p>							

授 業 計 画 ・ 内 容	
1回目	就職内定先において業務経験を積む (1)
2回目	就職内定先において業務経験を積む (2)
3回目	就職内定先において業務経験を積む (3)
4回目	就職内定先において業務経験を積む (4)
5回目	就職内定先において業務経験を積む (5)
6回目	就職内定先において業務経験を積む (6)
7回目	これまでの業務のまとめと振り返り
8回目	就職内定先において業務経験を積む (7)
9回目	就職内定先において業務経験を積む (8)
10回目	就職内定先において業務経験を積む (9)
11回目	就職内定先において業務経験を積む (10)
12回目	就職内定先において業務経験を積む (11)
13回目	就職内定先において業務経験を積む (12)
14回目	これまでの業務のまとめと振り返り
15回目	今後の課題とその対策をまとめる
準備学習 時間外学習	業務中に学んだこと、気づいたことなど、メモした内容を、ノート、word、excel、にまとめること。
評価方法	日々の業務における日報を就職内定先に提出し、就職内定先の方との面談による振り返りを行い、業務の習得度合いで評価を行う(100%)。
<p>【使用教科書・教材・参考書】</p>	

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	特別研究課題 (Advanced Research Project for Prospective Employees)	必修 選択	必修選択	年次	3	担当教員	就職内定先企業実務従事者
		授業形態	演習	総時間 (単位)	180 (12)	開講区分	後期
専攻名	水族館&マリンリゾート専攻	実施方法	対面授業			曜日・時限	随時
<p>【授業の学習内容】</p> <p>就職内定者を対象に、就職内定先から従来の業務を改善する課題をいただき、どのような改善を行うことが作業の効率化が図れるか、これまで身につけた専門知識技術を総合的に発揮できるようにする。</p> <p>※担当教員実務経験:就職内定先にて実務に従事している方より指導頂く。</p>							
<p>【到達目標】</p> <p>1. 業務の改善を必要とする課題を解決するアイデアをまとめることができる。 2. 課題を解決するアイデアを実践することができる。</p>							

授業計画・内容	
1回目	業務の改善を必要とする課題を解決するアイデアを考える (1)
2回目	業務の改善を必要とする課題を解決するアイデアを考える (2)
3回目	業務の改善を必要とする課題を解決するアイデアを考える (3)
4回目	業務の改善を必要とする課題を解決するアイデアを考える (4)
5回目	業務の改善を必要とする課題を解決するアイデアを考える (5)
6回目	課題を解決するアイデアを報告し、質疑応答を行う
7回目	課題を解決するアイデアのブラッシュアップを行う (1)
8回目	課題を解決するアイデアのブラッシュアップを行う (2)
9回目	ブラッシュアップしたアイデアを報告し、質疑応答を行う
10回目	課題を解決するアイデアを実践して効果を検証する (1)
11回目	課題を解決するアイデアを実践して効果を検証する (2)
12回目	課題を解決するアイデアを実践して効果を検証する (3)
13回目	課題を解決するアイデアを実践して効果を検証する (4)
14回目	検証結果をまとめる
15回目	検証結果の報告を行い、今回の課題改善の振り返りを行う
準備学習 時間外学習	現場経験を積みながら、業務内容をメモしたものを、ノート、word、excellにまとめること。
評価方法	課題を解決するアイデアを実践することで得られた結果を検証し、その報告内容によって評価する(100%)。
<p>【使用教科書・教材・参考書】</p>	

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	卒業企業課題 (Graduate Assignment for Prospective Employees)	必修 選択	必修選択	年次	3	担当教員	就職内定先企業実務従事者
		授業形態	演習	総時間 (単位)	180 (12)	開講区分	後期
専攻名	水族館&マリンリゾート専攻	実施方法	対面授業			曜日・時限	随時

【授業の学習内容】

就職内定者を対象に、就職内定先よりお客様が喜ぶようなイベントを考える課題をいただき、イベントの企画・立案を行う。プレゼンテーション後に企画が採用されたら、その企画を実践する。実施後には、振り返りを行い就職後の業務に活かす。

※担当教員実務経験: 就職内定先にて実務に従事している方より指導頂く。

【到達目標】

1. お客様が喜ぶイベントの企画を立案することができる。
2. 企画したイベントについて、現場の担当者にプレゼンテーションすることができる。
3. 採用されたイベント企画を実践することができる。

授 業 計 画 ・ 内 容

1回目	イベントの対象となるお客様を絞り、そのお客様のことを調べる (1)
2回目	イベントの対象となるお客様を絞り、そのお客様のことを調べる (2)
3回目	イベントの対象となるお客様を絞り、そのお客様のことを調べる (3)
4回目	お客様に合うイベントを企画・立案する (1)
5回目	お客様に合うイベントを企画・立案する (2)
6回目	お客様に合うイベントを企画・立案する (3)
7回目	企画したイベントについて、現場の担当者にプレゼンテーションする
8回目	プレゼンテーションでいただいた意見を参考に企画をブラッシュアップし、再度プレゼンテーションする
9回目	採用されたイベント企画を実践する準備をする (1)
10回目	採用されたイベント企画を実践する準備をする (2)
11回目	採用されたイベント企画を実践する準備をする (3)
12回目	企画したイベントの実践 (1)
13回目	企画したイベントの実践 (2)
14回目	企画したイベントの実践 (3)
15回目	イベントの振り返りとまとめ
準備学習 時間外学習	現場経験を積みながら、業務内容をメモしたものを、ノート、word、excellにまとめる。
評価方法	イベントの企画・立案力: 30% プレゼンテーション力: 30% 実践力: 40% 上記の3段階に分けて、それぞれの評価を行う。
【使用教科書・教材・参考書】	